

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月11日			
平成15年度	事業コード	14121	電話	042-769-8283
担当部課名	管理部	学校保健	課	保健係
事務事業名	児童健康診断経費(結核予防経費)			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	63以前年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

学校保健法第6条、学校保健法施行規則第3条、第4条

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
学校教育の円滑な実施と、その成果を確保するために、結核対策事業を実施し、結核の感染予防と早期発見に努めた。	市立小学校54校 1年生及び前年度BCGを接種した2年生
	対象数 8,588名
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
各小学校において、1年生及び前年度BCG接種を行った2年生を対象にツベルクリン反応検査(8,445名)を実施し、陰性児童で接種を希望する児童には、BCG接種により結核感染の予防を、1年生の強陽性児童にはX線直接撮影を行い、撮影の結果異常が認められる場合には、該当児童が医療機関にて検査を受けるよう保護者に指導した。 ツベルクリン反応検査対象者 8,588名 ツベルクリン反応検査受診者 8,445名 結果 陰性 2,170名 陽性 6,275名 内 強陽性 301名 BCG接種 2,132名 胸部X線撮影 192名 結核患者 0名	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

				15,16年度は目標値				
	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	受診率(100%)	ツベルクリン反応検査受診者数(8,588名)/ツベルクリン反応検査対象者数(8,588名)×100	上記目的を達成するために、対象児童全員に検査の実施を目指す。なお、15年度から内容が大きく変更するので記載しない。	12	13	14	15	16
				100	100	100	-	-
活動指標	受診率(98.3%)	ツベルクリン反応検査受診者数(8,445名)/ツベルクリン反応検査対象者数(8,588名)×100	上記目的を達成するために、対象児童全員に検査の実施を目指した。	100	99	98	-	-

9 事業費等の年度別状況

		〔金額単位：千円〕				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	21,354	22,690	19,431	19,087	19,087
	人員・時間数	15人、536時間	19人、534時間	19人、534時間	41人、662時間	41人、662時間
	人件費	2,217	2,097	2,123	2,117	2,117
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	23,571	24,787	21,554	21,204	21,204
特定財源	0	0	0	0	0	
対象数	8,351	8,698	8,588	36,035	36,423	
対象の単位あたり経費	2.8	2.8	2.5	0.6	0.6	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	検査対象児童の98%がツベルクリン反応検査を受けており、年度毎目標は概ね達成されている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 1年生及び2年生の一部児童を対象とした現状でも成果を上げているが、政令改正により15年度から、全学年を対象に、早期発見、早期治療に変わることで、更に効果が期待できる
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	全国的に高年齢者層の結核発症率が上がっている中で、児童の結核感染は減っており、本事業の目的である「学校教育の円滑な実施」に大きく貢献している
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 幼児期、小学校時、中学校時、高等学校とそれぞれの年齢層毎に実施されている事業であり、重複することはない
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	現在は1年生及び2年生の一部(1年生時のBCG接種者)が対象であったが、15年度からは全学年を対象とする事業となる

成果向上の余地

事業費削減のために取り得る手段と削減額

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 学校保健法令の改正により、平成15年度から事業の実施内容が変更され、小、中1年生への一律のツ反とBCG接種が廃止され、全児童、生徒への定期健康診断により、感染の可能性のある者に対し事業を行う事となった。	手段	小、中1年生に対する、一律のツベルクリン反応検査及びBCG接種の廃止。
		削減額	3,433 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 法に基づく事業であり、市町村間の差はないものである。
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 政令改正に伴いH15から健康診断の内容・方法が変更となつたため、政令改正により新たに設置された市立小中学校結核対策委員会の決定により定める。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

検診の実施方法の見直しを検討すること
